

進路かわら版

第2号 2025.7.18

東京都立北特別支援学校 進路指導部

住所 東京都北区十条台1-1-1

電話 03-3906-2321

【こんにちは！進路指導部です】



日頃より本校の教育活動に御理解いただきまして、感謝申し上げます。

一体、梅雨はどこへやら…と思う日々。そのような6月下旬から7月上旬にかけて、本校学区域である5区の福祉課の方々に御来校いただき、地域別福祉懇談会を行いました。会場での参加・オンラインでの参加をしていただきました保護者の皆様、ありがとうございました。また、御都合つかずに参加できなかった皆様、この「進路かわら版」を通して、少しでも雰囲気を感じていただけますと幸いです。

今回の進路かわら版では『地域別福祉懇談会』と『高等部1年生施設見学』について御紹介させていただきます。

【地域別福祉懇談会】

『こんだんかい』と聞くと、「福祉課の人や他の保護者の方たちと、輪になってお話ししなければならないのかしら…」とためらわれた方もいるかもしれません。本校では、保護者の皆様から事前にとらせていただいたアンケートと共に、学校から保護者へお伝えしたい共通事項などを、事前に各区の担当者と打ち合わせを行い、資料等の準備、当日の説明をしていただいております。

※区の方々の説明を聴くスタイルです。また、最後に質疑応答の時間を設けています



各区の懇談会内容については、以下の話題が主なものでした。

- 障害福祉計画の概要（障害福祉施策のトピックや計画進捗）
- 障害福祉サービス等の内容（障害者福祉のしおりや手引きの活用 各区HPにてダウンロード可能）
- 障害福祉サービスの利用について（支給の流れ：計画相談支援事業所での計画・申請・給付）
- 卒業後の日中活動（生活介護施設・就労継続支援B型事業所などの概要説明）
- 福祉サービス利用希望者の進路決定（入所調整の基本的な考え方・申込先・スケジュール・現在の状況）
- 各区トピック情報（新規整備事業・防災関係・地域生活安心拠点）
- 事前の質問事項への回答

また、各区のトピックスを司会の視点でまとめてみました。

- 6/23板橋区** 2027年3月の開設に向け板橋キャンパス跡地を整備。サービス内容はグループホーム、短期入所、生活介護（定員20名のうち重心5名）、計画相談支援の予定。
- 6/24北区** 第7期障害福祉計画、第3期障害児福祉計画の紹介。多くの質問に対してそれぞれの部署から回答。今年の10月実施予定の福祉サービス「就労選択支援」についても説明。
- 6/26足立区** 情報として「ミライロID」を紹介。デジタル障害者手帳として利用できる。
誰でもなんでも相談できる窓口として「まるごと相談課」を福祉窓口として創設。
- 7/2文京区** 2027年に社会福祉法人「文京槐の会」が大塚4丁目障害者施設を移転・整備予定。
生活介護の定員拡充とグループホームの新設を行う予定。
- 7/3豊島区** 今年度は「施設」と「就労支援」に支援グループが分かれた。「障害児通所支援の手引き」や「在宅レスパイト」のリーフレットの発行。（2025年7月）

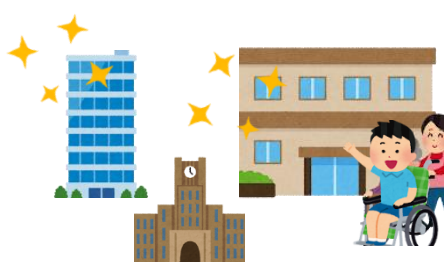
各区の「福祉のしおり」「福祉のてびき」リーフレット等につきましては、それぞれの区のHPに掲載されております。冊子希望の方は事前にお問い合わせの上、窓口までお願いいたします。

今年のホットな
ポイントはココ！



【高等部1年生 施設見学】

高等部1年生で、施設見学に行ってきました。事前学習では、それぞれ施設の様子や福祉事業所の種類、企業の選択肢等を学び、当日を迎えました。服装については先方に失礼のないように、始業式や終業式に準じた服装で行きました。「相手の印象を決めるのは視覚が8割」と言われることもあり、その部分も意識して取り組んでいます。今年度は4つの施設・企業にお世話になりました。皆、それぞれ普段とは異なる環境に緊張したり、先輩方の様子を見て、楽しんだり…体得するものがあったと思います。「卒後の進路先とは、どのようなところか」という教育活動の視点で、例年取り組んでいます。



ひゃくぶん いっけん し
百聞は一見に如かず



明日から始まる夏休み。この機会に「見学」をされることもご検討いただけたらと思います。お子様と一緒に見学するもあり、保護者の方だけで見学するもあり。上級学校や企業、福祉事業所等への雰囲気を感じ方は人それぞれです。実際に見聞きすることで、卒後のイメージが少し膨らむのではないのでしょうか。環境面でもどのような状況であるのか、実際に見てみるとわかることも多いものです。様々な選択肢を広げる意味でも、「知っておく」ことは大切です。小・中学部の段階であれば、通学範囲を広げて上級学校を見学したり、利用エリアを超えた隣接の事業所等を見学したりすることも、今後の進路を考えるための情報収集として非常に有効です。各学部へ進学する節目での進路選択に、特に高等部では、小・中学部で収集してきた情報を本人・保護者が活用し、見学先・実習先・進路先を具体的に検討していけると良いですね。